

市町村別計画編

対策の実施に際しては、本計画に基づき、養浜および施設整備に関する、より具体的な検討を加えるものとします。

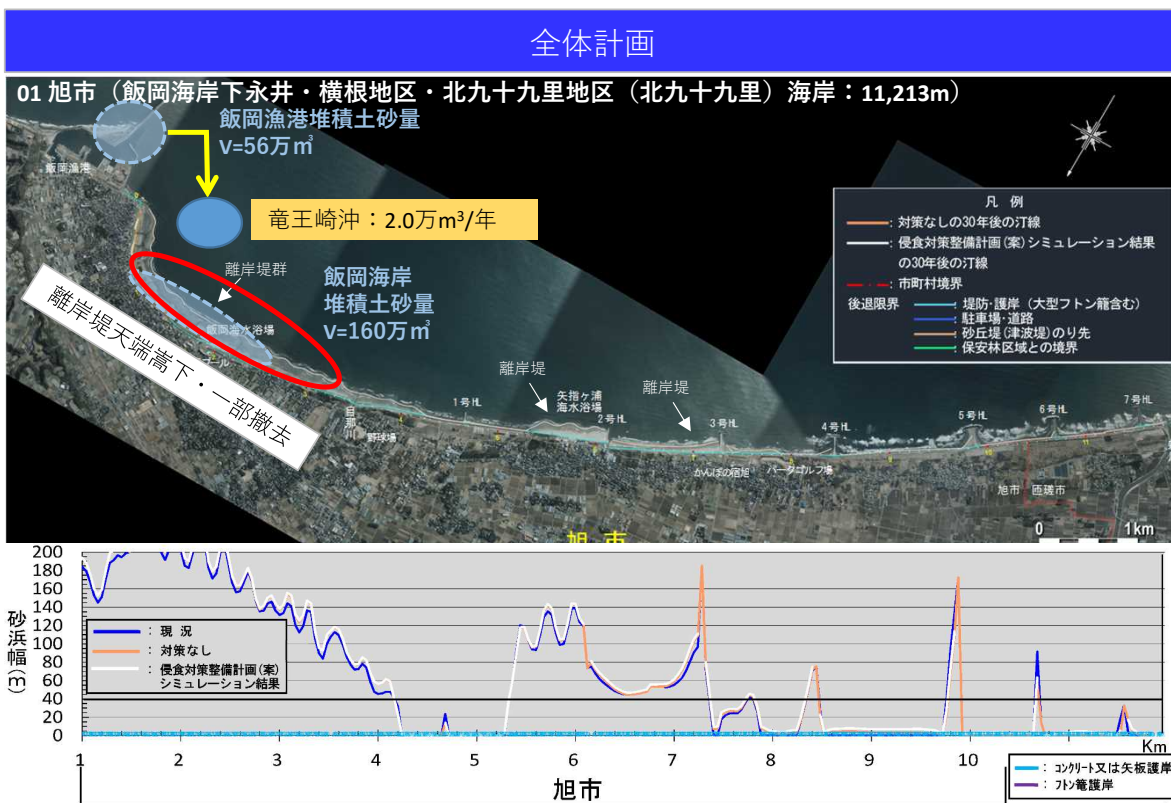
全体計画 (2020~2049)	
種別	
目標	飯岡海水浴場(0kp~4.2kp)、矢指ヶ浦海水浴場(5.3kp~7.4kp)周辺で砂浜幅40m以上を確保 砂浜が存在しない区間は越波が発生せず、護岸が破壊しないよう現状海浜断面地形を維持
施設整備	・ 既設離岸堤天端嵩下・一部撤去 5基 注1)
養浜	・ 養浜(維持) V=60万m ³ (30年間) 注2)
養浜材調達先	
・ 飯岡漁港：V=56万m ³ ・ 飯岡海岸：V=160万m ³	
留意すべき点	
飯岡海水浴場離岸堤の天端嵩下げあるいは一部撤去による下手海岸へ土砂を流す際には、汀線後退状況をモニタリングしながら進める必要がある。	
過去履歴(施設整備内容)	
飯岡地区の離岸堤群(1975~1993) 16基 L=2,389m 北九十九里地区の離岸堤 7基 HL(N)-1~5(1990~2013)、緩傾斜護岸	

* 1 海岸線延長は、平成28年度海岸統計(平成29年度版)による。

※ HL(N)-1~12は、北九十九里のヘッドランドとその番号を示す。

注1) 飯岡地区離岸堤の天端嵩下げ、あるいは一部離岸堤の撤去により下手に供給される沿岸漂砂量を増加させ、養浜と同等の効果を期待する。

注2) 養浜材投入による漁業への影響が懸念されるため、関係者(沿岸市町村長、漁業関係者等)の理解を得ながら進める。

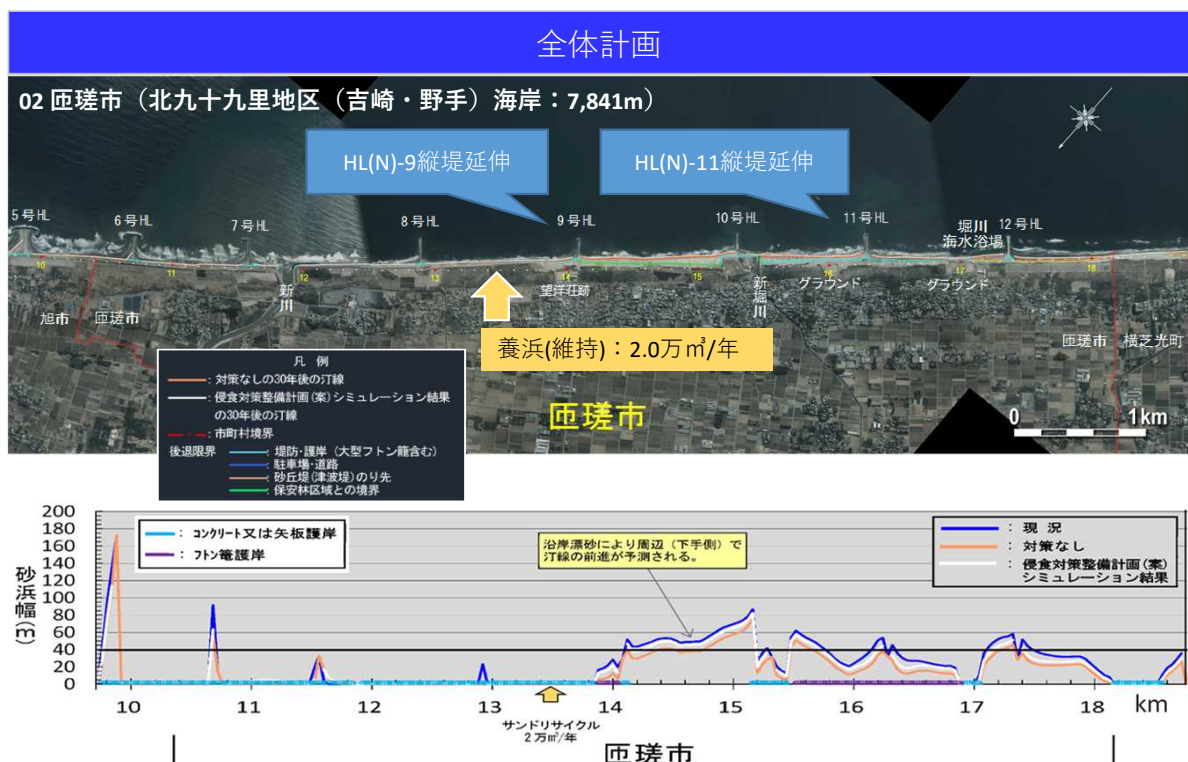


種別	全体計画 (2020~2049)
目標	10.5kp~18.3kpの範囲で汀線位置(砂浜幅)は現状維持 砂浜が存在しない区間(HL区間)は越波が発生せず、護岸が破壊しないよう現状海浜断面地形を維持
施設整備	・ HL(N)-9 縦堤L=45m ・ HL(N)-11 縦堤L=7m
養浜	・ 養浜(維持) V=60万m ³ (30年間) 注)
養浜材調達先	
・ 飯岡漁港：V=56万m ³ ・ 飯岡海岸：V=160万m ³	
留意すべき点	
飯岡海岸(竜王崎沖)への養浜が可能となった場合は、上手から流れてくる沿岸漂砂を期待することから、その効果をモニタリングにより把握する必要がある。	
過去履歴(施設整備内容)	
HL(N)-6~12(1990~2013)、緩傾斜護岸	

* 1 海岸線延長は、平成28年度海岸統計(平成29年度版)による。

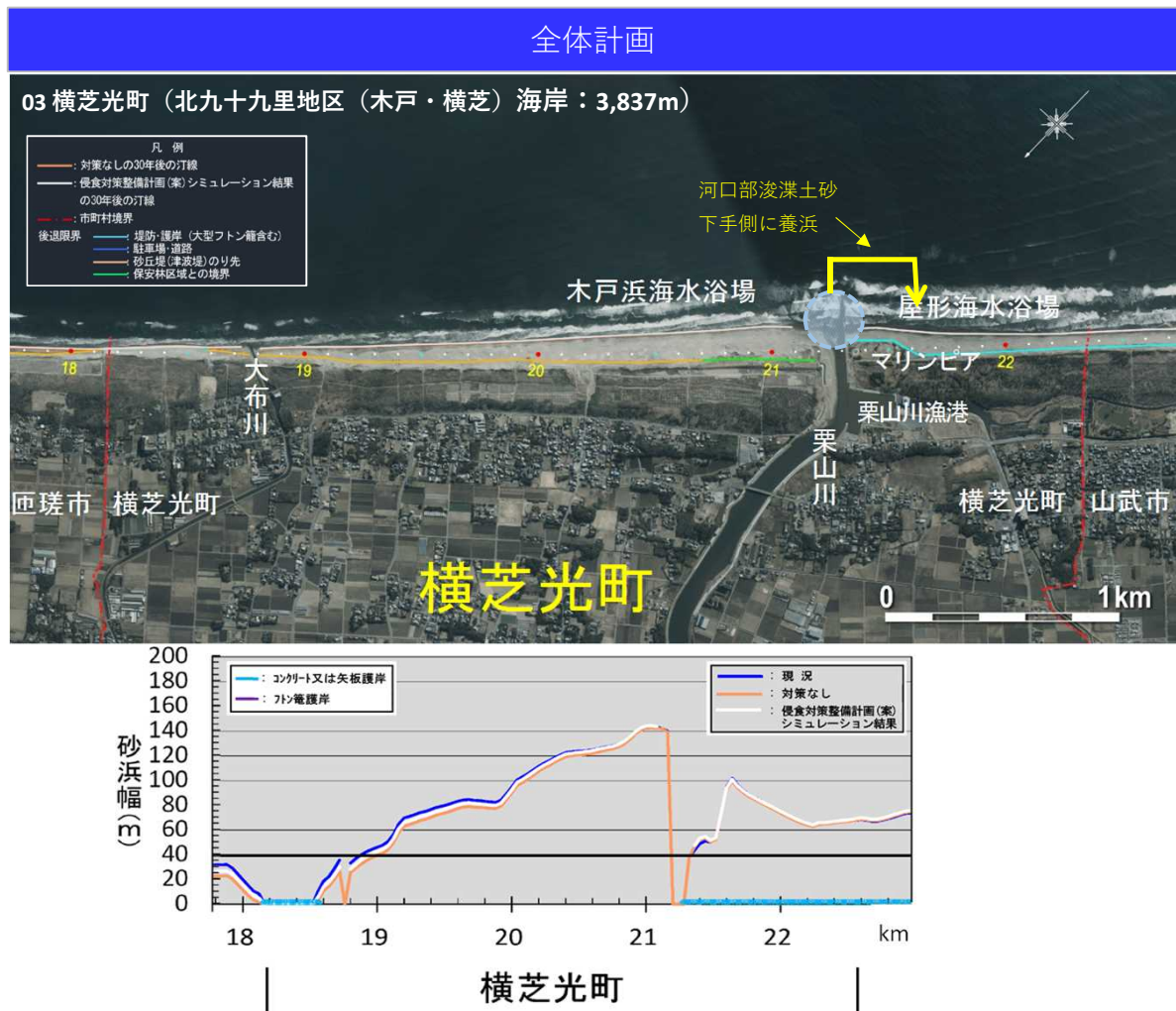
※ HL(N)-1~12は、北九十九里のヘッドランドとその番号を示す。

注) 8号~9号のヘッドランド間に2万m³/年の養浜を計画しているが、関係者(沿岸市町村長、漁業関係者等)の理解を得ながら進める。



種別	全体計画 (2020~2049)
目標	18.3kp~22.3kpの範囲で汀線位置(砂浜幅)は現状維持 砂浜が存在しない区間は越波が発生せず、護岸が破壊しないよう現状海浜断面地形を維持
施設整備	順応的管理により汀線の後退が顕著となった場合は、養浜と施設整備の組合せを検討する。
養浜	順応的管理により汀線の後退が顕著となった場合は、養浜と施設整備の組合せを検討する。
養浜材調達先	
留意すべき点	
沿岸漂砂上手(北側)からの侵食の波及(木戸浜海岸) 栗山川河口部の浚渫土砂は養浜材として活用(浚渫土砂は沿岸漂砂下手にあたる右岸側に投入)	
過去履歴(施設整備内容)	
緩傾斜護岸(18.3kp~18.6kp)	

*1 海岸線延長は、平成28年度海岸統計(平成29年度版)による。



種別	全体計画 (2020~2049)
目標	22.3kp~30.3kpの範囲で汀線位置(砂浜幅)は現状維持(現状では砂浜幅40m以上あり、かつ長期的には堆積域であることから、現状汀線位置を下回らないことを目標とする)
施設整備	順応的管理により汀線の後退が顕著となった場合は、養浜と施設整備の組合せを検討する。
養浜	順応的管理により汀線の後退が顕著となった場合は、養浜と施設整備の組合せを検討する。
養浜材調達先	
留意すべき点	
沿岸漂砂上手(北側)からの侵食の波及 木戸川河口部の堆積土砂は養浜材として活用(浚渫土砂は沿岸漂砂下手にあたる右岸側に投入)	
過去履歴(施設整備内容)	
緩傾斜護岸	

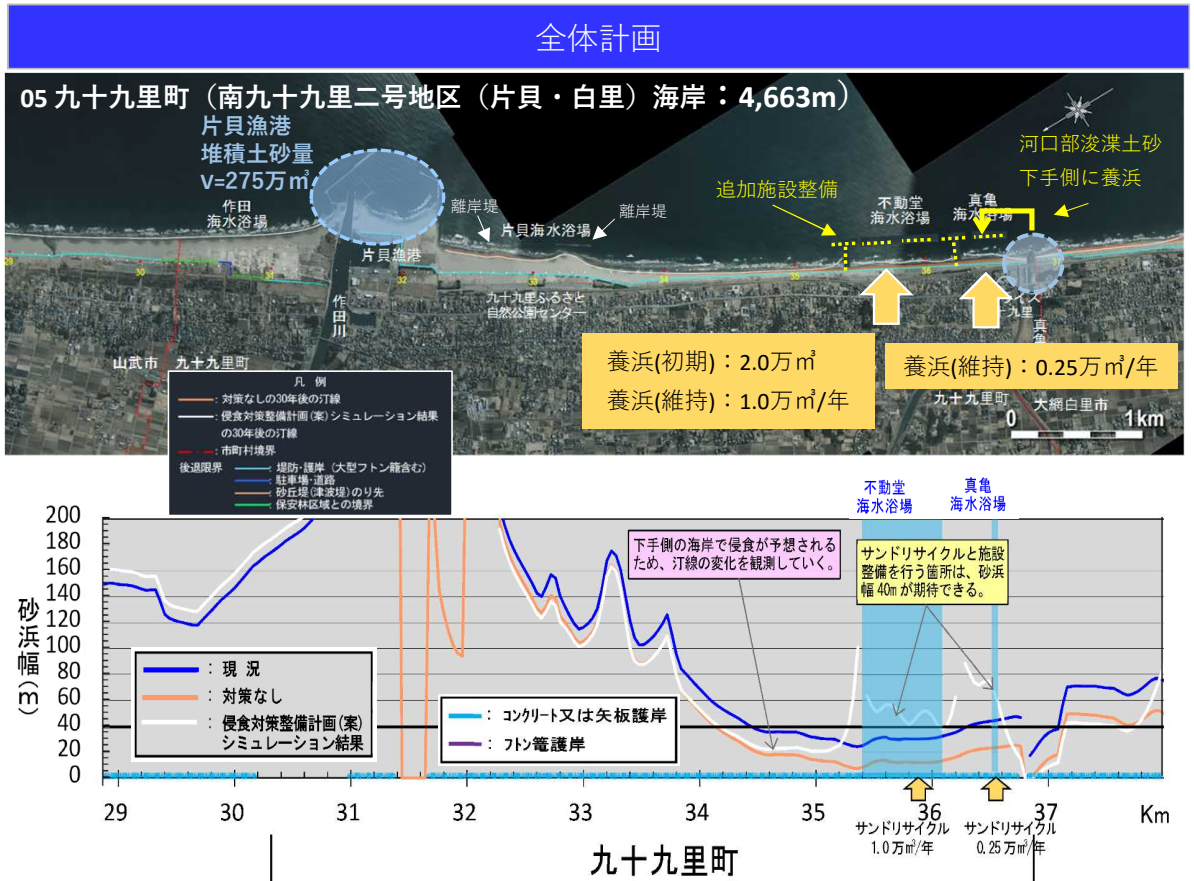
*1 海岸線延長は、平成28年度海岸統計(平成29年度版)による。



種別	全体計画 (2020~2049)
目標	30.3kp~36.8kpの範囲で砂浜幅40m以上確保(現状では概ね40m以上を確保しているものの、将来的には侵食が波及することが予想されていたり、また片貝漁港北海浜の堆砂は養浜材として浚渫することで砂浜幅が減少することが予想されることから40m確保を目標とする)
施設整備	・ 離岸堤 3基 (1基当り:L=200m) 注) ・ HL 2基 (1基当り:縦堤L=200m、横堤L=100m) 注)
養浜	・ 養浜(初期) V=2.0万m ³ (1回) ・ 養浜(維持) V=37.5万m ³ (30年間)
養浜材調達先	
・ 片貝漁港: V=275万m ³	
留意すべき点	
沿岸漂砂上手(南側)からの侵食の波及 真亀河口部の浚渫土砂は養浜材として活用(浚渫土砂は沿岸漂砂下手にあたる左岸側に投入)	
過去履歴(施設整備内容)	
片貝海水浴場の離岸堤 2基(1973~1978) 緩傾斜護岸	

* 1 海岸線延長は、平成28年度海岸統計(平成29年度版)による。

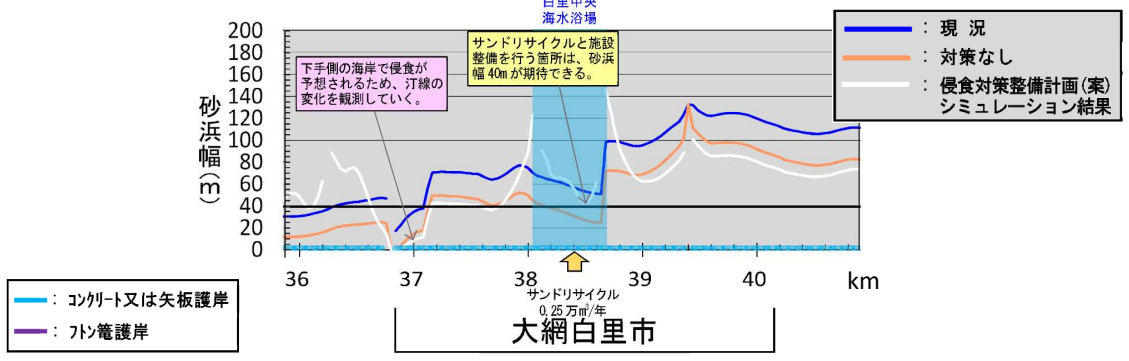
注) 不動堂海水浴場と真亀海水浴場の離岸堤・ヘッドランドは将来の汀線後退に対応する追加整備である。ただし、関係者(沿岸市町村長、漁業関係者等)の理解を得ながら進める。



種別	全体計画 (2020~2049)
目標	36.9kp~40.1kpの範囲で砂浜幅40m以上を確保
施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・離岸堤 1基 (1基当り:L=200m) 注) ・HL 2基 (1基当り:縦堤L=200m、横堤L=100m 注)
養浜	<ul style="list-style-type: none"> ・養浜 (初期) V=2万m³(1回) ・養浜 (維持) V=7.5万m³(30年間)
養浜材調達先	
・片貝漁港: V=275万m ³	
留意すべき点	
<p>白里中央海水浴場は現状では砂浜幅40m以上あるが、将来、沿岸漂砂上手(南側)の施設整備が進むとその下手にあたる当該海岸の侵食が予測される。その予測される侵食に対して設置する離岸堤の影響でその周辺汀線の後退が予想されることから、汀線後退が予想される箇所あるいは堆積が予想される箇所にあらかじめ養浜(初期養浜)し汀線後退を予防する必要がある。</p> <p>堀川河口部の堆積土砂は養浜材として活用(堆積土砂は沿岸漂砂下手にあたる左岸側に投入)</p>	
過去履歴(施設整備内容)	
緩傾斜護岸	

* 1 海岸線延長は、平成28年度海岸統計(平成29年度版)による。

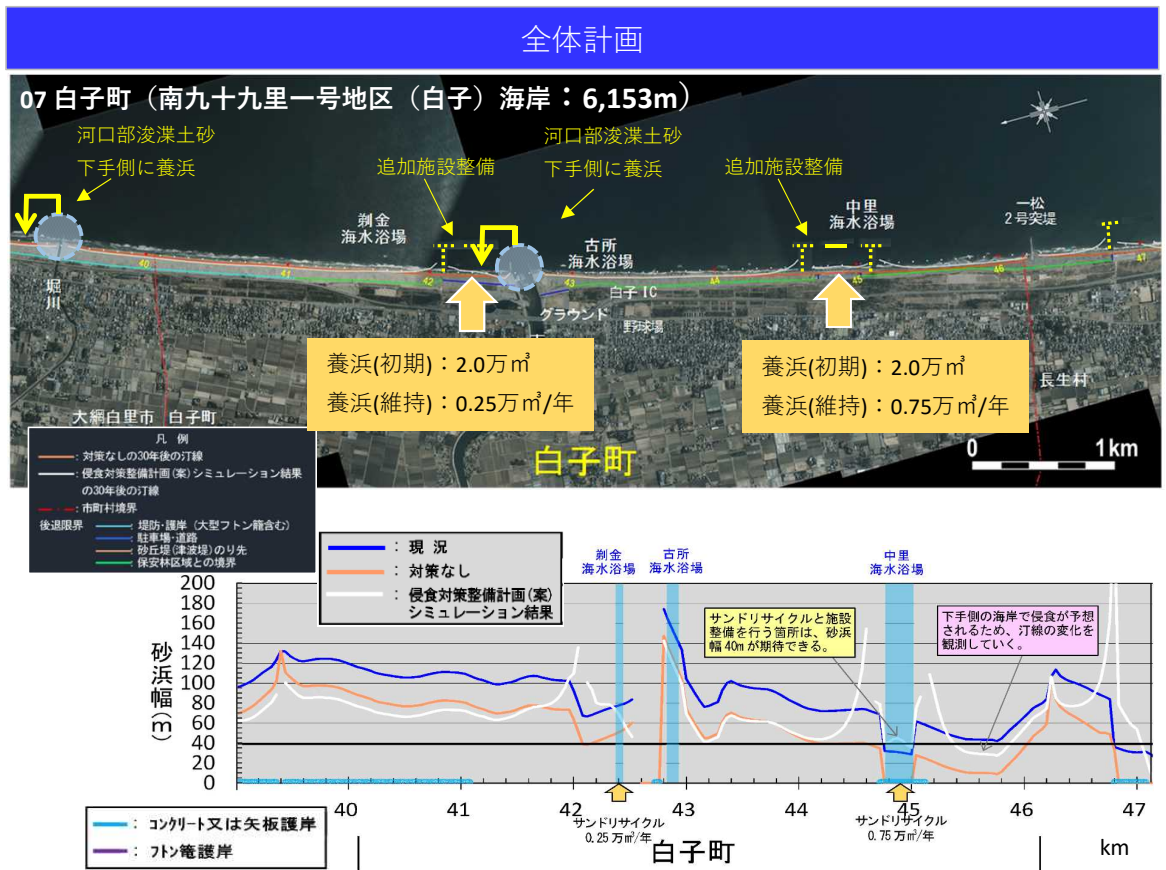
注) 白里中央海水浴場の離岸堤・ヘッドランドは将来の汀線後退に対応する追加整備である。ただし、関係者(沿岸市町村長、漁業関係者等)の理解を得ながら進める。



種別	全体計画 (2020~2049)
目標	40.1kp~46.2kpの範囲で砂浜幅40m以上を確保
施設整備	・離岸堤 2基 (1基当り:L=200m) 注) ・HL 3基 (1基当り:縦堤L=200m、横堤L=100m) 注)
養浜	・養浜(初期) V=4.0万m ³ ・養浜(維持) V=30万m ³ (30年間)
養浜材調達先	
・片貝漁港: V=275万m ³	
留意すべき点	
中里海水浴場に設置する離岸堤の影響でその周辺汀線の後退が予想されることから、汀線後退が予想される箇所あるいは堆積が予想される箇所にあらかじめ養浜(初期養浜)を行い、汀線後退を予防する必要がある。さらに下手にあたる刺金海水浴場周辺の汀線の後退が将来予想されるので注視する。 南白亀川河口部の堆積土砂は養浜材として活用(堆積土砂は沿岸漂砂下手にあたる左岸側に投入)	
過去履歴(施設整備内容)	
緩傾斜護岸	

*1 海岸線延長は、平成28年度海岸統計(平成29年度版)による。

注) 中里海水浴場のヘッドランドと刺金海水浴場の離岸堤・ヘッドランドは将来の汀線後退に対応する追加整備である。ただし、関係者(沿岸市町村長、漁業関係者等)の理解を得ながら進める。



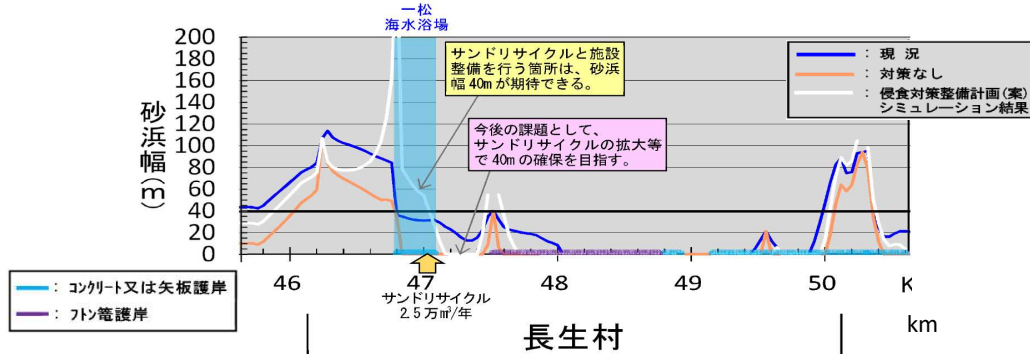
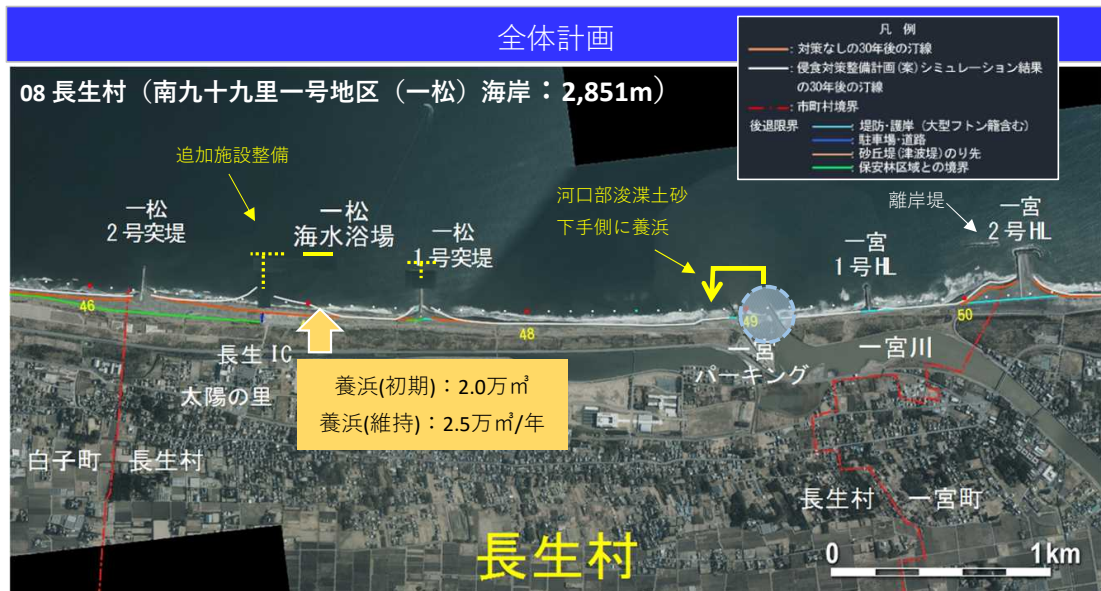


種別	全体計画 (2020~2049)
目標	一松海水浴場(46.8kp~47.5kp)で砂浜幅40m以上を確保 砂浜が存在しない区間を含めそれ以外の区域は越波が発生せず、護岸が破壊しないよう現状海浜断面地形を維持
施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 離岸堤 1基 (1基当り：L=200m) 注) ・ HL 1基 (1基当り：縦堤L=200m、横堤L=100m) 注) ・ 突堤のHL化 1基 (1基当り：横堤L=100m) 注)
養浜	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養浜 (初期) V=2万㎡(1回) ・ 養浜 (維持) V=75万㎡(30年間)
養浜材調達先	
・ 片貝漁港：V=275万㎡	
留意すべき点	
<p>一松海水浴場に設置する離岸堤の影響でその周辺汀線の後退が予想されることから、汀線後退が予想される箇所あるいは堆積が予想される箇所にあらかじめ養浜 (初期養浜) を行い、汀線後退を予防する必要がある。</p> <p>一宮河口部部の堆積土砂は養浜材として活用 (堆積土砂は沿岸漂砂下手にあたる左岸側に投入)</p>	
過去履歴 (施設整備内容)	
<p>一松1,2号突堤(2000) HL(S)-1(1995~1997) 一宮海岸の離岸堤 1基 緩傾斜護岸</p>	

* 1 海岸線延長は、平成28年度海岸統計 (平成29年度版) による。

※HL(S)-1~10は南九十九里のヘッドランドとその番号を示す。

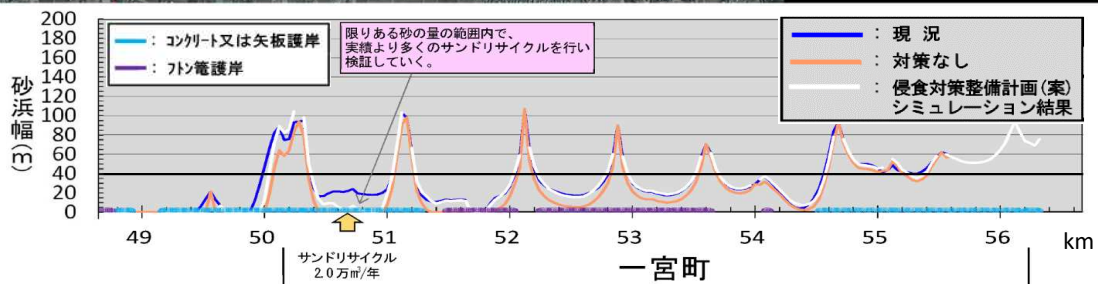
注) 一松海水浴場のヘッドランドと既設突堤のヘッドランド化は将来の汀線後退に対応する追加整備である。ただし、関係者 (沿岸市町村長、漁業関係者等) の理解を得ながら進める。



全体計画 (2020~2049)	
種別	
目標	一宮海水浴場(50.3kp~51.2kp)で砂浜幅40m以上を確保 砂浜が存在しない区間を含めそれ以外の区域は越波が発生せず、護岸が破壊しないよう現状海浜断面地形を維持
施設整備	ヘッドランドの縦堤は概成しているが、順応的管理により既存施設の改良も含めた施設整備を検討。
養浜	・養浜(維持) V=70万m ³ (30年間)
養浜材調達先	
・片貝漁港：V=275万m ³ ・太東漁港：V=34万m ³	
留意すべき点	
地盤沈下の影響もあり、海水浴場として適切な砂浜を確保するためには養浜量が2.0万m ³ /年で不足する可能性があることから、養浜量は地形変化をモニタリングして適切に調整する必要がある。	
過去履歴(施設整備内容)	
HL(S)-1~10(1990~2016) 緩傾斜護岸	

*1 海岸線延長は、平成28年度海岸統計(平成29年度版)による。

※HL(S)-1~10は南九十九里のヘッドランドとその番号を示す。



九十九里浜侵食対策計画

2020年7月7日 初版発行

発行 千葉県

編集 県土整備部 河川整備課 海岸砂防室

〒260-8667 千葉県千葉市中央区市場町1-1

TEL : 043-223-3152
FAX : 043-227-0259

表紙写真：白子海岸（白子町提供）

